

34 ムクゲ

名前の由来

漢字はこの字があてられている。漢名の「木槿」の音読み「もくきん」が変化して「ムクゲ」となったとも、韓国の呼び方「無窮花(ムグンファ)」または「ムキュウゲ」が変化して「ムクゲ(木槿)」となった、ともいわれる。... 併し、花が次々に咲き、花期が長いため朝鮮語では無窮花（むきゅうか）と呼ばれている



ムクゲは冬になると、色が変わりピンクになります1年中変化を見せます。この花は、1年間を通してあまり変化しません。



ムクゲは夏になるとピンクから白に色を変え成長を見せます。
ムクゲというのはなは、ハイビスカスにも似ていてとても綺麗な花です

ムクゲ		和名	槿、木槿		34
		別名	ハチス		
分類	科 (APG分類)	アオイ科		属	フヨウ属
	科 (旧分類)			属	
	科 (旧分類)			属	
名前の由来	<ul style="list-style-type: none"> ・中国名「木槿(むーじん)」、漢名「木槿(もくきん)」が変化して「むくげ」となった。 ・韓国名「無窮花(ムグファ)」または(ムキュウゲ)が変化して「むくげ」となった。 ・早朝の3時に開花した花は夕方しぼんでしまう。「一日花」、「槿花一朝(きんかいつちょう)の夢」人の世ははかないの意にたとえられているが、次々に別の花が咲くので長く咲くように見える。 				
樹木の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・大型の落葉広葉樹の低木。樹高3~4mほど。 ・葉は互生し、卵形から卵状菱形、浅く3裂し、葉縁に粗い鋸歯がある。 ・花期は夏~秋(7~10月)。枝先の葉腋に白、ピンク色、薄紫色など様々な花色の美しい花をつける。ハイビスカスの類なので花形が似ている。花径約5~10cm、5花弁がやや重なって並び、雄しべは多数、雌しべの花柱は長く突き出る。花は1日花で、早朝に開花し夕方にはしぼんでしまう。普通は一重咲きであるが、八重咲の品種もある。 ・果実はさく果で卵形をしており、長さ約2cmで星状毛が密生し、熟すと5裂して種子を覗かせる。種子は扁平な腎臓状で、フヨウの種子より大きく、背面の縁に沿って長い毛が密生している。 ・フヨウと近縁であり、接ぎ木が可能。繁殖は春で、芽が萌える前に挿し木を行う。 				 
用途・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・生薬名「木槿皮」樹皮は抗菌、抗真菌作用があり、チンキ剤を水虫や田虫に外用する。 ・生薬名「木槿花」花は清熱、下痢、嘔吐、下血に効果がある。 ・生薬名「木槿子」果実は頭痛、片頭痛、咳など効果がある。 ・生薬名「木槿根」根はできもの、咳、痔に効果 ・土壌は選ばないため観賞用として世界各地で栽培されている。大韓民国の国花。 				